

令和 3 年 10 月 18 日

## 2021 年度 第 2 回 学校関係者評価委員会 議事録

### 【目的】

2021 年度半期報告に基づく、意見やご提案を戴き、学校改善・改革に繋げる

### 【日時・場所】

令和 3 年 10 月 18 日(月) 10:00~11:30 (実時間)

福岡ベルエポック美容専門学校 4 階 401 教室

### 【学校関係者評価委員】

高校関係者 矢ヶ崎 裕和 様 (福岡県立香椎高等学校 校長)

→欠席

業界関係者 早田 健 様 (ロットアニバース 代表)

矢田 綾香 様 (一般社団法人 日本化粧品検定協会 顧問)

→日程変更により、原宿校同委員会出席のため欠席

地域関係者 春山 大輔 様 (大浜自治協議会 大浜祭り委員会委員長)

保護者代表 江口 亜希子 様 (ブライダルコーディネーター科)

卒業生代表 力武 毬絵 様 (美容師科)

### 【本校委員】

学校長 田中 浩一

事務局長 佐藤 誠

教務・キャリアセンター部長 望月 健司

美容師科学科長 加藤 真也

トータルビューティ科・ヘアメイク科学科長 水谷 将也 (議事録)

ブライダルコーディネーター科学科長 柴田 薫 (授業のため欠席)

広報センター長 成本 佳樹

高等課程準備室長 古川 喜春

高等課程開設に伴い、高等課程と専門課程との両立について

### 【議事内容】 進行：望月

■開会のあいさつ 学校長 田中

おはようございます。やっと秋らしく季節の変わり目を感じています。本校では様々な

行事をやっていますが、2点学校の取り組みをご報告させていただきたい。

1点目、コロナについて昨今急激に感染者が減少しています。学生もワクチンを打つ子が多くなってきており、近辺では予約なしでワクチンを受けられる場所があるが、情報が周っていない状況です。

先日緊急事態宣言解除に伴い、学校より文書を発表しています。内容は、対策として登校時の体温計測、手指消毒、マスク・換気の徹底、授業ごとに体温計測（37度以上の学生は再検査をして、下校指導をしている）、食事の際も横並びで食事するなどまとめた文章を発信している。

2点目、ICT教育（オンライン授業）は止めてはいけないと思っています。日常生活でオンラインが当たり前のような社会になっているが、そのような中、講師のオンライン授業の質向上のため、講師同士が授業見学をできるオープン授業を行い講師同士の気づきを促し、授業の質向上を図っています。

学校の取り組みの代表として、コロナ対策とオンライン授業改善という話をさせてもらいました。

本日、皆様の貴重なご意見を反映させて頂き、次年度からの学校運営に生かしていきたいと思っております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

#### ■2021年度の中間報告：望月 ※詳細はPP資料参照

教育に関して、「コミュニケーションと自律」、就職キーワードに関して、「指導強化（応力・視野広角力・PR力）」を意識して取り組んでいます。

※表参照。

直近3年間を見ていくと、在学学生数は増えているが退学生数も増えており、休学者数も悪化しています。長欠者数はほぼ横ばいとなっている状況です。9月末の数字を見てみると、退学・休学が大幅に増えており、黄色から赤色のシグナルが出ている。要因として退学は1年生が多い。今年の1年生はコロナ禍でオープンキャンパスに行けず進路を決めた学生でありますので、結果的に「違った」という進路選択ミスという割合が多かったと推測をしています。またメンタルが弱い学生が顕著。後期は学生との接点をどれだけ多く持つかをポイントにしてやっていきたいと思っています。

就職の求人数については、コロナ禍でも変わりがない。就職希望者も卒業生が多くなってきているので、増加している。求人傾向も回復の兆しがあり、今年の内定率は昨年よりも上がっており、コロナ以前の内定率と変わらないところまで来ています。

#### 運営方針 ハイブリッド教育の構築

- ・オンライン授業⇔オフライン授業
- ・学内授業⇔学外授業（産学協同教育）
- ・教職員⇔講師 ※研修・情報提供

## ・教育⇔就職

### ○オンライン オフライン授業

1年と2年でオンラインを交互にする対策を行いました。またマイクロソフト社の Teams を導入して、オンライン授業や掲示板、課題などを一本化しました。また授業の効率化を図るため講師同士のオープン授業を行いました。

### ○産学共同教育紹介 ※詳細はPP資料参照

・TB科、韓国在住のインフルエンサーのユニムさんとオンラインでつないで国際教育を行った。

アートジャムというアートイベントにて、来場者に学生がボディペイントのサービスを行いました。

・BRC科、トップブライダルゼミというブライダルヘアメイク業界で有名で、結婚式の常識を変えた人として服部さんを招いての授業を行いました。

・HM科 竹島さんという著名人のメイクを担当されている方を招いてゼミを実施したり、韓国と日本でヘアメイク活動をしているキムかなさんと福岡の美容系 You tube の鹿の間さんを招いてのゼミも予定しています。

以上のように若い時に一流と触れさせ感性を磨くことを行っています。

・美容師科、VR授業を本格導入しようと動いています。講師の目線で学生が技術を疑似体験できるもので、国家試験の基礎科目をVRで教えようとしています。これが成功すればベルが先駆者となります。メリットは予習復習が容易で、教える技術の標準化が図れます。

### ■高等課程及び美容科について：古川 ※詳細はPP資料参照

高等課程準備室で、中学校訪問やオープンスクールで中学生向けに説明をしています。

2022年開設。1学年40名定員。授業は基本的な教室で行いますが、専門授業は専門課程の教室も使って授業をする予定です。

- ・そもそも高等課程とは何か？
- ・高等専修学校の役割
- ・修業年限
- ・高等学校就学支援金・学生割引
- ・福岡ベル高等課程 美容科について
- ・目指す職業

3年間のゆるやかな美容師免許を取得するプランを用い、大学入学資格を得られる普通科目も行います。

### ■委員会からのご意見等

望月) 高等課程と専門課程の共存について意見を伺いたい。

春山様) たくさんあると思うが、早くから専門知識を得て即戦力の人材になる子が来る。ぱっと見高校生か専門生か見分けがつかない子もいる。地域としてそのような学生だとわかりやすければ、フォローしやすいと思う。

江口様) 中学卒業時は気持ちが変わりやすい年頃のため、最後の18歳までやり遂げられるか心配。

田中校長) オープンスクールに約80人の参加者がいた。本人や保護者の関心は高い。美容が好きという言葉が響く。中学生なので、「楽しい、憧れ」などのイメージが先行しています。高校卒業ではなく、高校卒業同程度と説明を行うが、本人や保護者はそこにこだわりはない方が多い。江口様の言う通り、3年間で気持ちは変わると思います。もし、変わったら短大や大学に行けるカリキュラムなので、変更も可能です。

力武様) 就職したとき、歳が違う人が同期になる。新卒スタッフにそのような人材がいたが、最初は楽しそうにしていたけども若さ(遊びたいという気持ちが強く社会人という意識不足)もあり1年半で辞めてしまったので、そこが懸念です。

古川) できるだけ行事ごとは、専門課程と一緒にやっっていこうと思っています。2,3年生で職場実習も導入していこうと考えています。できるだけ専門課程世代の学生と接点を持たせるような工夫をしていくつもりです。高卒離職率はとても高く、原因としては、社会人意識が低いことがあげられる。3年間あるので、社会人意識をもてる工夫をしていきます。

早田様) 年上の学生と関わるということは、やはり悪い遊びを覚えてしまうことが想定できるので、起きたとき対応できるような罰則も必要。ホームシックで辞めるリスクも考えられる。高校では厳しい校則と理不尽を学ぶ場と思っている。人間教育や倫理感を養うため、職場実習がかなり多くないとギャップで辞めてしまうと思う。

田中学校長) 学びの場として、3年間貴重な場となるのではないかと感じている。高校になじめない子にこの新たな高等課程のように、新しい学びの場としてあっていいと思っている。「私は～ができる」という何かに自信がある人材を育てたい。そんな学校があっればいいのではと思っている。

#### ■質疑応答

力武様) 実習にベル生が来ますが、いい子たちばかり。

江口様) 娘が2年間楽しく過ごせて、就職も決まってお礼を言わせていただきたい。

ありがとうございました。

春山様) 高等課程ができるということで、若くして志を持ってくる子供たちの育っていく環境を地域としても一緒に育てられるように、環境づくりをしたいと思っている。大浜地区は大きな行事もある。ベルの学園祭も大きな行事となっている。学生と地域がなにかできたたらと思います。

早田様) 人間関係が構築できないから辞めてしまう。ハイブリッドの授業もあったが、授業カリキュラムの見直しも必要になってくると思う。楽しい授業は前半で、後半は就職に向けて、就業時のギャップが出ないような工夫が学校も企業も必要と感じています。

■閉会のあいさつ：佐藤事務局長

今年度の最後の会議になります。本当にありがとうございました。

コロナ関連ではクラスター一歩寸前までいきました。今日いただいたお話は今後改善していこうと思います。

ハイブリッド教育に関して、小学生がオンライン授業を受けていて、先生がとても工夫した授業を行っています。短期間で先生たちはそのような授業を実施していて、それを受けた子供たちが今後入学してくる。ハイブリッド教育をやり続けて、進化させていかないとけないと思っています。

田中学校長) 貴重なご意見を沢山戴きまして、ありがとうございました。また学校が発展していくには地域との連携が外せなく、本校は大浜地区と今後もさらに連携を深めていき、教育の推進を図っていきたいと思っています。